

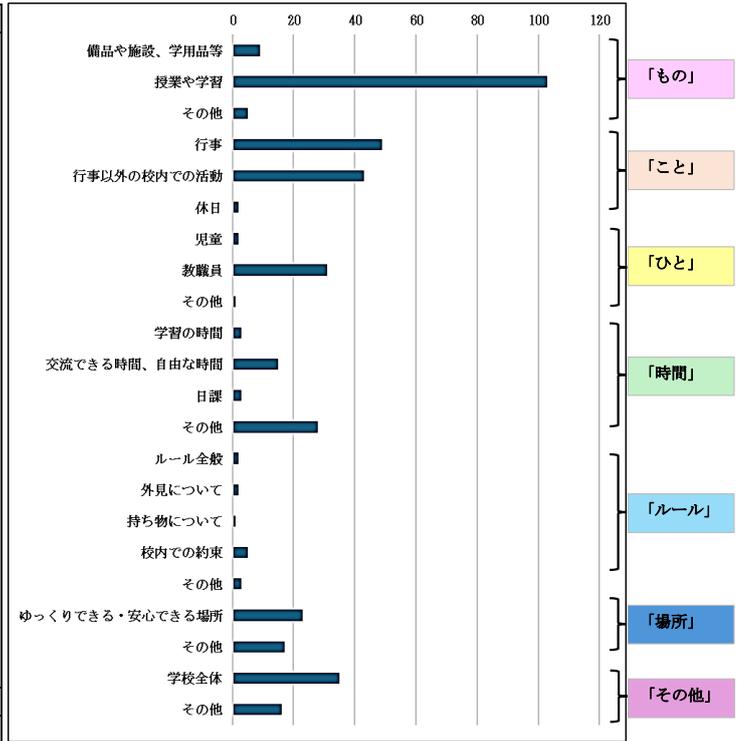
軽井沢東部小学校・軽井沢中部小学校・軽井沢西部小学校 保護者全体（回答者：242人 回答率：24%）

問3 学校に今あるものや、今はないけど今後あったらいいなと思うもの（こと、ひと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

【回答の傾向】

「もの」	回答に占める割合が最も大きく、なかでも自分のペースで学べる授業についての要望が最も多い。
「こと」	行事のうち、運動会や遠足についての要望が多くを占めている。
「ひと」	受容・傾聴してくれる教職員や、教職員の配置についての要望が半数以上を占めている。
「時間」	交流の時間や、時間のゆとりについての要望が半数近くを占めている。
「ルール」	校内での約束のうち、登下校についての要望が一定数見られる。
「場所」	ゆっくりできる・安心できる居場所についての要望が半数以上を占めている。
「その他」	風通しの良い学校づくりについての要望が最も多くを占めている。

項目	内訳	数	合計	
「もの」	備品や施設、学用品等	9	398	
	授業や学習	103		
	その他	5		
「こと」	行事	49		
	行事以外の校内での活動	43		
	休日	2		
「ひと」	児童	2		
	教職員	31		
	その他	1		
「時間」	学習の時間	3		
	交流できる時間、自由な時間	15		
	日課	3		
	その他	28		
「ルール」	ルール全般	2		
	外見について	2		
	持ち物について	1		
	校内での約束	5		
	その他	3		
「場所」	ゆっくりできる・安心できる場所	23		
	その他	17		
「その他」	学校全体	35		
	その他	16		
なし、特になし				4
無回答				46



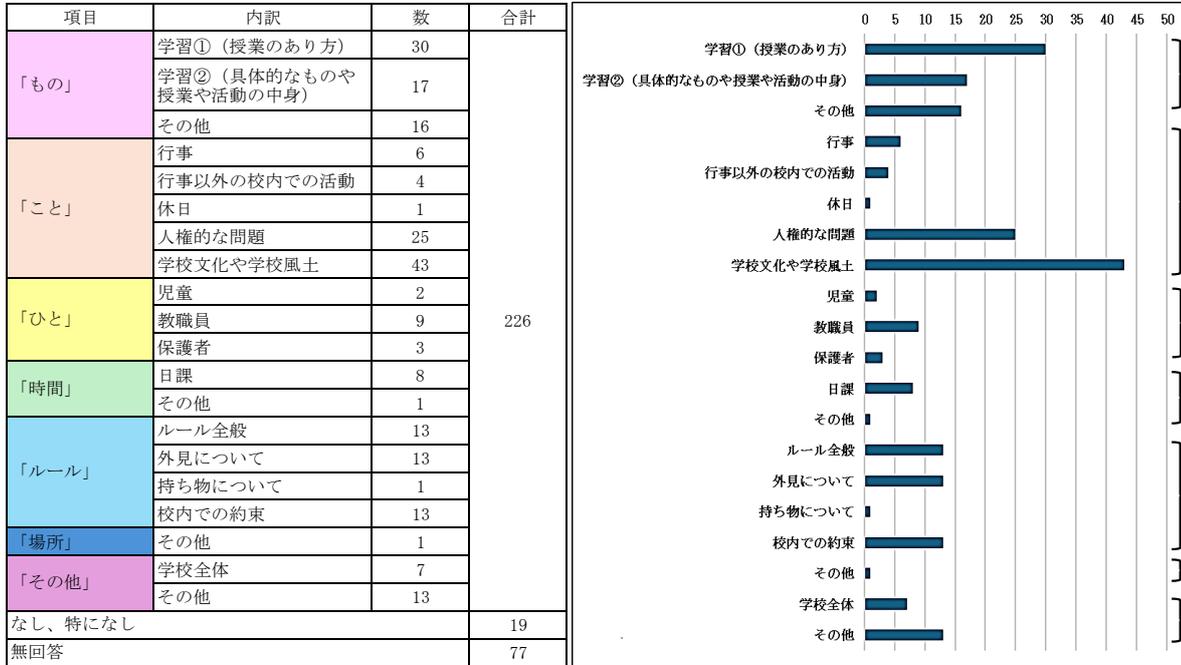
項目	内訳	意見
「もの」	備品や施設、学用品等	施設関係（2人）（涼しい図書館や体育館）
		自然関係（2人）（林を使ったミニアスレチック、山口の森が早く使えるようになれば良い）
		ICT関係（2人）（iPadなど軽いタブレット、LDの生徒が使いやすいデジタル端末の配布と全教員の知識習得）
		運動着等の譲渡会（高いので）（2人）
		地域がら長靴やスノーブーツなどで登校することが多いなか、下駄箱が少し小さい感じがする。
		自分のペース（時間割・習熟度・成績別・選択制）で学べる授業（それをサポートする人）（29人）
		学習内容や方法の充実（9人）（漢字を音読み訓読み両方、英語教育の充実、仏・中語の選択、機能的な身体の使い方の指導、色々な競技や軽井沢ならではの競技を授業で体験、体を動かしながら勉強、個性を育てる）
		運動関係（7人）（水泳やスケート、カーリングの授業を増やしてほしい）
		自分に合った学び方を探せる・選べる（7人）（パーテーションをより気軽に使える、静かに集中して学べる）
		探究の時間関係（6人）（1日中・1年間取り組む、自分でテーマを決めて取り組み知識のある先生や地域の専門家への橋渡し、失敗をしながらゴールを目指す、教科にとらわれず好きに表現できる）
	体験や交流型の授業（5人）（校外学習、他学年と一緒に興味のある学習する等）	
	ICT関係（5人）（タブレット端末などを使った適度な情緒系の授業、オンライン学習、リモート授業）	
	少人数・個別での授業（4人）（ついていけない子への対応、勉強のサポート、わかば教室の頻度を増やす）	
	ディベートやディスカッションの時間（3人）（大人や先生が極力介入しない）	
	既存の学習の継続（2人）（音楽の授業でのそれぞれの好きな曲紹介、養護教諭による性教育）	
	児童がそれぞれ自分の興味関心を深められる環境（校外学習など）（2人）（個と共同の学びも行き来できる）	
	自分から参加する授業（2人）（昨年、児童対教師の授業ではなく、グループ学習がとてもよかった）	
	暗記学習や受け身の学習ではなく、思考力を育む授業（2人）	
	色々な先生と関われる授業、時間（2人）（国算理社が担任だけでなくさまざまな先生から教われる）	
	合理的配慮（2人）（LDを抱える児童への合理的配慮や個別学習が可能な環境、口頭だけでなく視覚での指示）	
タブレット学習は、読み書きなどの基本がちゃんとできるようになってからでも良いと思う。		
なぜこの学習をするのかという理由を質問される事が多いので、実際の生活の場面を想定して説明いただきたい。		
その他新たな学習（12人）（芸術、お金、SDGs、防災知識、包括的性教育、人権教育、主権者教育、様々な国の文化や言語・宗教等を学ぶ機会、教科書以外の文化的な活動、赤ちゃんと触れ合う機会や命の授業、漢字検定）		
新しいタイプの成績表（あゆみ）を検討すること		
長期休みの宿題		
その他	休み時間に好きにできる塗り絵、給食を増やす、服や体換着のリサイクルボックス、畑、安全な通学路	

「こと」	行事	運動会関係(17人) (昔のようにきちんと競わせる、リレーや親子競技が保護者参加競技の導入、簡素化せず見どころを増やす、練習期間を延ばす、9月等秋頃が良い、半日から1日に、赤白2組ではなく3組または4組に)
	行事	遠足関係(10人) (復活を希望、年に2回ぐらい・春と秋に・全学年あると良い、バスや電車で遠出したい)
		校外学習関係(6人) (八風山強歩登山の継続や希望、林間学校、大賀ホールでの音楽会、色々な体験をして欲しい、地域の方々の協力を得ながら活動できる場や畑・田・自然を感じられる機会)
		音楽祭や運動会の内容をより良くする(2人) (音楽祭は簡単すぎ、運動会はリレーがなく盛り上がりがない)
		運動会や音楽会などみんなで一生懸命取り組む・クラス関係なく仲良くなれる行事(2人)
	行事を子ども主導にし、目的や意義を子ども主体で考える(2人)	
	保護者の参加(2人) (参観日以外の参観、学校清掃等)	
	その他の行事(8人) (水泳大会、1/2成人式、職業体験をもっと取り入れる、全校ハロウィン・クリスマス会・夏祭り、以前あった登山、学校に宿泊、マラソン大会、夏休みに友達に会えるイベントを増やす等)	
	行事以外の校内での活動	既存の活動の継続や充実(7人) (「IU CHUBU」、しじみ清掃、おはなしクレヨン、縦割り活動、クラブ活動を増やす、低学年からのクラブ活動、トイレ等の清掃に業者を入れる)
		交流の機会(6人) (他学年、他校、特別支援学校、地域の方、親子、本について)
給食関係(6人) (友達と丸くなって一緒に食べる、苦手なものも残さず食べる、親の給食、写真をX等で配信等)		
多様な校外活動(3人) (職業体験・見学、豊かな自然や文化・歴史の体感)		
ランチルーム関係(3人) (昼食を食べる、給食を運びやすくする工夫)		
子供がやりたいと思える、子供たち主体で企画した何かをできる時間や空間(環境・雰囲気)があれば良い(2人)		
地域に関連した活動(2人) (田植え活動)		
もっと多様なクラブ活動、もしくはチャレンジできる場所(2人)		
係や当番、委員会活動、掃除など、学校で皆が気持ちよく過ごせるよう役割分担があること。		
学習を通して自分で考えやってみる、考えたことを実行してみる場所があれば有難い。		
その他新たな活動(10人) (動物の飼育、全校での縄跳び検定や朝の持久走、放課後の習い事、地元農家との協働農業体験、新しいカギの学校かくれんぼ、子どもによる先生の通知表、子ども同士の評価制度)		
休日	長期休業関係(2人) (GWを連続休み、もっと長い夏休みまたは秋休み)	
「ひと」	児童	子供達の優しい心 会って話せるお友達
	教職員	話を聞いてくれる、相談しやすい先生(9人) (選択できる、質問できて答えてくれる、それを周知する)
		教職員配置関係(9人) (複数担任制、副担任制、支援員を増やす、1年生や大変な・賑やかなクラスのサポート、看護師)
		教科専門の先生(4人) (算数専科、ネイティブの英語の先生、体育、プログラミングを教えてくれる人)
		常駐のスクールカウンセラー関係(2人) (常駐にする、増やす)
		学校内で雑談できる、話しかけやすい大人の存在(2人)
	読み書き困難な生徒の学習方法についての合理的配慮と一緒に考えてくれる専門家の常駐(2人)	
	「迷惑をかけちゃいけない」ではなく「自分の事も相手の事も大切にしよう」という声かけに変わると良い。	
	トラブルを担任に伝える形だと「担任がいない、忙しい」ことがあるので何か解決策はないかと考えている。	
	先生のお便りなどをアプリ配信するときの平等なスキル	
先生や親に相談できないことを相談できる顔見知りの大人		
学習の時間	学習で苦手な部分や理解が足りていない所を振り返る時間。または質問できる機会(2人)	
交流できる時間、自由な時間	分からない部分を寺子屋プリントなどを持ち帰り復習する時間(親が〇つけをするために解答もセットで)	
「時間」	友達、先生、上下級生との十分な関わり合いや遊び、趣味の交流の時間(10人)	
	子ども達がそれぞれ気負わず意見を言い合える程度に話し合い可能な少人数で話し合える時間や場所(5人)	
	授業は毎日5時間あるのは1年生にとって負担が大きい。短期間で学べる工夫や無理ない時間割に(2人)	
	全日5時間下校。(放課後が増える事で先生の働き方改革になると思う)	
	時間のゆとり(10人) (様々なことをゆとり丁寧に、給食の時間、先生と個別で話せる、教師が子ども達と余裕をもって向き合える、放課後に図書館でゆとり本を探せる、大人に急かされず考える、くつろぎ)	
その他の時間	自分の得意なことや好きなことに取り組める時間とそれに対する支援(5人)	
	懇談や面談関係(4人) (回数を増やす、保護者同士悩みや質問等を話す、先生と子どもの面談、カウンセリング)	
	朝の時間を戻す。子どもたちが「きのうの続き」から今日一日を始められるように。	
	読み書き困難な人が世の中にいることやその合理的な配慮について、生徒や教員が知る&理解する時間の確保。	
	その他(7人) (図書館の時間、日焼け止めを塗る時間、自分の気持ちを言う時間、瞑想の時間、遊ぶ時間、人間関係について考える時間、クラブ活動の時間を増やす)	
「ルール」	ルール全般	ある程度のルールは必要(2人) (もっと自由な発想や行動もできたら良い、子供達も交え話し合う)
	外見について	服装の自由(2人) (制服でも私服でも良い、ハロウィンの日は仮装して登校しても良い)
	持ち物について	おやつ持参OK
	校内での約束	いじめや問題行動を起こす児童への厳しい指導(別室登校の検討等)(2人)
	その他	西部小の開門時間が他校より8時と遅いので、もう10分程早く開門すれば朝の準備や委員会活動等に活かせる。 その他登下校関係(2人) (8時半登校、中学に向けて6年生は自転車通学できる日を設ける)
「場所」	ゆっくりできる・安心できる場所	制度(2人) (居住地と関係なく希望の小学校に行けるように、子どもの有給休暇)
	その他の場所	SNSの利用ルール(写真の無断掲載)
		ゆっくりできる(静かな気持ちで安心できる)居場所(18人) (保健室以外、ソファがある、漫画や本がある等)
		子供達が安心して休める空間(4人) (授業に参加する元気がない時や困った時に駆け込める、遊ぶものほなく心を整えるための部屋で悩みを聞いてくれる人がいる、学校に行きづらい時に行って落ち着ける)
		皆と一緒に教室で勉強ができない子が安心して学べる場所。
学校の近隣で、過ごせる学びの場所(フリースクールなどの居場所)		
「その他」	学校全体	のびのびと遊べる場所(3人) (休み時間や放課後に校庭で、自由に遊べるプレーパーク等)
	その他	休み時間や退屈するとき、気が動転したときなど気分転換(クールダウン)ができる発散の場(3人)
		自分に合ったペースで学べる空間(2人)
		教科専門の場所(2人) (英語でコミュニケーション、工作やものづくり)
		着替えの場所(2人) (一年生の時から体育時の着替えは男女別に、十分な広さの更衣室)
		既存の場所について(2人) (図書館は端ではなく学校の真ん中に、児童館で学べる仕組み)
	授業に出られない子が居られる場所(保健室は体調面で具合が悪くないと出されてしまう)	
	困ったときに相談できる場所を低学年のうちから周知する	
	風通しの良さ(13人) (十分に話し合える、相談しやすい、頼り頼られる関係、挑戦しやすい、あいさつ等)	
	1クラスの人数を減らす(20人くらい)と先生も子どもたちもゆとりある毎日が過ごせるのではと思う(5人)	
大人の目が行き届く環境や大人の意識(4人) (肯定だけでなく悪い事は理由とセットで叱る)		
個性や良さを大切にする(3人) (個々の児童、学校全体、自分らしく学べる場や機会を増やす)		
合理的配慮(3人) (学校側から提案と実践、特性に応じた達成ラインの変更、配慮や学びの場の柔軟な選択)		
教職員について(3人) (負担が減るように、気を遣いすぎなくて良い環境、長く働きたいと思える職場に)		
自分の事を自分で考えて行動でき、発信できる。生きていく上で大切なこの事を学べる学校であって欲しい。		
その他(3人) (安心して送り出せる通学環境、日頃から英語を使い英語が好きになれる、RTIモデルの実践)		
その他	特性についての理解や相談体制(2人) (全ての保護者が知る機会、LDについて児童や保護者が相談できる体制)	
	教職員への対応(2人) (教員のスキルアップのための講座開設や教員指導体制、モチベーションを高める対応)	
	学校での生活面のサポート(持ち帰り忘れ等)(2人)	
	防犯対策(2人) (少し早い時間に職員玄関を使用した際誰もおらず、誰でも侵入できる状態だった)	
	PTA関係(2人) (全校児童加入、正義の押し売りのような方がまとめ役にならないことを願っている)	
その他(3人) (どの学年で何の感染症が出ているか報告、東部小区域を広げる、生徒数が少なくとも母校が存続)		
今のままで十分、現状通りで良い(3人)		

問4 学校にないほうがいいなと思うもの（こと、ひと、時間、ルールなど）を記入してください。いくつでも可。

【回答の傾向】

- 「もの」 受け身の授業についてや宿題についての回答が半数近くを占めている。
- 「こと」 回答に占める割合が最も大きく、なかでも学校文化や学校風土についての回答が半数以上を占めている。
- 「ひと」 教職員の言動についての回答が半数以上を占めている。
- 「時間」 日課についての回答が大半を占め、なかでも6時間授業の見直しについての意見が多い。
- 「ルール」 児童が自分で選択したり、話し合ってルールを決定できると良いという回答が一定数見られる。
- 「場所」 校長室についての回答が見られる。
- 「その他」 PTA制度についての回答が3分の1程度を占めている。



※「なし、特になし」の1名の理由：「嫌な友達や先生も理不尽なルールや事柄も子供の成長の糧になると思うので」

項目	内訳	意見
「もの」	学習①（授業のあり方）	ずっと座って話を聞く、ノートをとるだけの授業（20人）（分からなくても一方的、同じ進度、1年生は興味をなければ座ってられない）
		興味の持てない授業の進め方（3人）（プリントのみ、学習指導要領をこなす）
		個々の困りごとに配慮しない授業（2人）（読み書き困難な生徒へのプリント学習&本人の意に沿わない学習方法）
		正解やつくるものが決まっている授業（2人）（正解を答えるだけ、図工）
		助け合いという名のもと、勉強ができない子の面倒を、他の児童に見させること。先生の負担軽減のために押し付けられている場合がほとんど。教えることで学びにもなるが限度がある。
	学習②（具体的なものや授業や活動の中身）	子ども達がずっと座っていても気にならない授業をするにはどうしたら良いか？これは教師の力量に関わってくる問題。学校はみんなで同じことをしながらも協力、協働で学ぶ場でもあると思う。（例）によって先入観をもたせ誘導するような発問はいかがなものか？
		風越学園方式の学び方。本質をわかっていない先生方が教えても無意味。教科書に沿った内容で授業をしないのに、テストは先生が作ったものではなくて買ったテストをするものだから、平均点が低くなる。教科書使わない教え方ならテストも先生自身で作るべき。
		宿題関係（10人）（つまらない宿題、長期休みの宿題はもっと少なくして良い、宿題の排除等）
		テスト（2人）
		毎日の宿題はいいと思うが量は日によって変わるといいと思うし、土日はなくてもいいのでは。間違っなくても見落とされたり先生方の負担も多いと思うがそもそも何のための宿題なのか。
「こと」	その他	苦手な教科のテストや宿題
		プール、スケートの一択しかないもの！
		セルフビルド（名前はカッコいいがドリルの時間ですよ？）
		通知表
		設備や制度関係（5人）（エアコンの匂いが気になるので新しくしてほしい、チャイム、時間割、欠席した日に友達に持って帰ってきてもらうお便りや宿題）
	行事	体操着関係（4人）（夏場等汗をかきやすいので涼しい生地、あまり使わないのに指定のもの）
		ランドセル（3人）（重い、長く歩く子供はかわいそう）
		給食関係（2人）（牛乳、シェフ給食）
		算数セットの個人購入
		登校班、集団登校。
行事以外の校内での活動	運動会関係（2人）（内容の少ない運動会、子どもと別々の昼食）	
	その他の行事（4人）（皆がやる行事、遠足、先生が授業を進める参観日、来賓の長い話）	
	昼食関係（2人）（姉妹学級との交流・なかよし弁当、シェフ給食は子どもに不評）	
	その他の活動（2人）（高学年の朝の読み聞かせの時間、支部児童会は年に1〜2回位で良い）	
	休日	夏休み
人権的な問題	みんなの前で（長々と）怒られること（忘れ物の指摘も）（11人）（それを見ているのもないほうがいい）	
	いじめ（7人）	
	暴力的・ちくちくした言葉を友達に発すること（学校でも指導してほしい）（3人）	
叱責（3人）（人格否定のような叱責、先生からの一方的な叱責）		
授業妨害などで学びたい子どもの時間が減ってしまうこと		

「こと」	学校文化や学校風土	皆が同じことをしなければならぬ雰囲気（個人尊重のようで和を乱すのを嫌う）（14人）		
		皆が同じペースでやらなければいけない雰囲気（3人）		
		子どもたちの主体性をつぶす（3人）（受け身な人間をつくる、先生の扱いやすい子がいい子）		
		指導のあり方（3人）（悪い事をした時に晒される、連帯責任、あだ名を一律で叱る）		
		多様性を尊重しないこと（2人）（自分と他の人が違うことを認められるようになること）		
		行き過ぎた平等主義と個性、自由や自主性の尊重（2人）（基礎的なことを踏まえてなら良い）		
		順位や勝ち負けがなくなる事（2人）		
		座席関係（2人）（席を固定しない方がいい、列になる配置は時代錯誤）		
		ジェンダー関係（2人）（ジェンダーバイアス、便宜上チーム分けするときの安易な男女分け）		
		教職員について（2人）（一人の先生が受け持つこと、大事なことは一度しか言わないこと）		
		中部小は人数が多いからやらないんだよ、人数が多いからしょうがない、と会話から出てくる。そう感じさせてしまう学校の雰囲気。		
		偏った思考の学校の考え方を取り入れる風潮もやめてほしい。		
		大人の都合で、子ども達が楽しめる行事をどんどん無くしてしまうこと。		
		時代に合わなくなっている慣行		
		他人と比較すること		
年度はじめに決められた担任やクラスは、1年間こどもの意思では変更できないこと。				
努力した過程ではなく、結果で評価すること。				
授業中にトイレに行きづらい雰囲気。				
「ひと」	児童	クラスの雰囲気を壊す人 人の気持ちを考えないで汚い言葉や態度を使うお友だち		
	教職員	ふさわしくない態度（6人）（威圧的、子どもに見せられない態度や言葉、子どもを放任） 偏った（柔軟でない）考え方や行動（個々の困りごとに配慮できない）の先生、指導員（3人）		
	保護者	保護者の介入（2人）（先生のやり方に口出ししたり、先生の悪口を自分の子どもに話したり） 人の気持ちを考えず汚い言葉や態度を使うのが我が子だからとありのままを勧誘して曲げない		
「時間」	日課	6時間授業の見直し（6人）（朝0時間目を作り5時間までに、午後は疲れにくい授業にしたり5時間授業を増やしたりする、冬だけでも6時間目をなくす） 時間割関係（2人）（時間割の排除）		
	その他	子どもたち同士のディスカッションタイム		
「ルール」	ルール全般	理由もなくなぜかわからないけど守るべきルール（5人）（意図が伝わっていないルール） ある程度のルールは必要（3人）（あまり自由過ぎない校則で良い、快適な学校生活を送るためのルールは必要、身だしなみや他者への影響等を考慮し、社会に通用する校則が必要） 校則、厳しすぎる校則（2人）（軽井沢の学校の校則がどこまで厳しいのか分からないが、髪型やスカートの長さまで厳しく決めることは子どもの成長には有意義とは思えない） 最低限の時間割や勉強に必要な物を除いたルール（2人）（子供達が自分達の育ちの場である事を理解して自分たちで話し合っルールを決めていくことができる場所になればいい） 子供がルールを決める		
		外見について	皆が同じものを使ったり着たりすること（7人）（選択制が良い、高価なことへの抵抗） 髪の色、長さ、パーマなど容姿に関わる校則（2人） 真夏もヘルメットでの登下校（熱中症の危険性、行事によっては赤白帽子で良いのが疑問） 体操服の上が半袖の場合は下も半ズボン、上が長袖の場合は下も長ズボン（自己調整が良い） マニキュアや髪染め禁止。→授業には関係ないが、支障がある訳でもない。 体操着でなければならない。→動きやすい服装であれば良いはずであり、動きにくい服装/運動には危険な服装である場合はそのくらい子供達も実体験や話し合いでどうすべきか理解できる。	
			ピアスや染髪自由化	
	持ち物について		筆箱の中身の決まり	
	校内での約束		時間割を確認する為だけに、重いタブレットを毎日持ち帰ること（4人）（連絡帳に書けば良い、親の携帯で確認できるし週末ごとで良い、自主学だとタブレット学習はしない、公的費用を使つての費用対効果も不明、学校に2月分くらい用意して授業で使用するで良い） 校内での活動（3人）（外出時の日焼け止め使用、無言清掃、手洗い後のアルコール消毒の指導） 授業中の約束（2人）（自分の席に座っている、許可を得ないとトイレに行けない） 学校までの保護者の送迎。学校から許可が降りた生徒のみなどにしてほしい（2人）（必要な生徒や保護者が利用できなくなったりより混雑したりするため、児童の将来のため） 牛乳がアレルギーでないと除去できないこと 学校の門が開く時間を7時30分に戻す、それから朝の会が始まるまで図書館が使えるように。	
		その他	校長室	
		「その他」	学校全体	個性を伸ばそうとしない教育（2人）（団体行動のみに重きを置く） 今のままのあなたでいいという教育。今はまだこれが足りない（間違っている）から直していこうというのが良い。 子供達が自ら学び自ら考えて行動できるよう、先生達に関わり方を変えてほしい。 結果はそれぞれでよいので、シンプルに文武両道を目指すことがよいと思う。 以前、子供のヘルメットを誰かが持っていき学校へ連絡したら翌日は赤白帽で来てほしいですとのことだったが、ヘルメットを被らないで登校中に何かあったらどうするんだ？と思ったが、言うことで先生の負担になったら…うるさい親だと思われるかも…と覚えてしまい言えなかった。責めたい訳でもないけど言いたいことを言えない保護者もいる。相手だったり現場が学校だからこちらが言いにくいという雰囲気が少しでも無くなればと普通に出来る子が損をする環境
	その他			PTA関係（6人）（支部の活動、結局嫌々やっている、ボランティア制が良い） PTA任意加入が混乱を招いていると感じる。より良い学校を、地域で作っていく・自分たちでより良くしていく意識づけのためにも学校運営に親が参加することは意味があると思う。当事者意識がなくなると、お客様感覚の文句やマイナスのフィードバックが増える懸念がある。 明らかに特定の生徒に問題がある場合、それにより授業を困難に感じる生徒（静かな環境で勉強したい）がいるのであれば、原級から出なければならないのはどちらか、考えてみていただきたい。 選択制の問題 ずっと座って大丈夫な子どもと、そうでない子供がいると思う。大人になっても、ご飯を食べる暇もないくらい動きっぱなしのサービス業の方もいれば、しっかりと中食の食べられる座りっぱなしのデスクワークの方もいて、向き不向きがあると思う。不必要に危険を除去することも、社会に出た時に、危機感や危険を察知する能力が低下すると思う。 児童の保護者とのやりとりを、別の専任の方が担って、先生が直接される回数が減って欲しい。 意見をすぐに学校に言う少数派の保護者の意見をすぐに聞かないで欲しい。 現状どおりでよい。



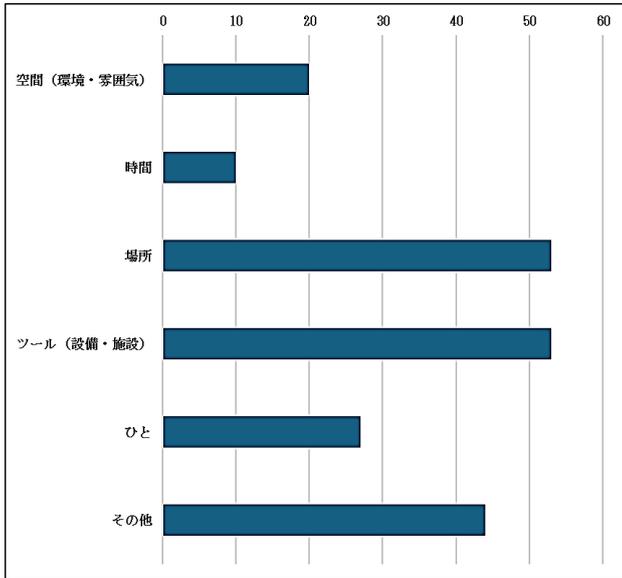
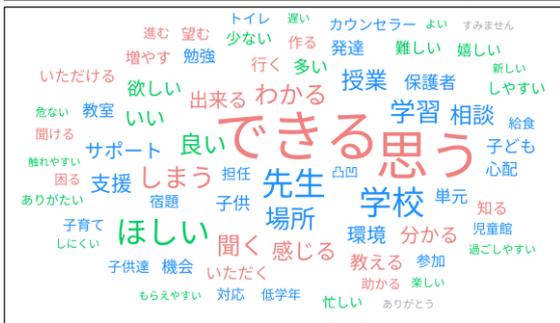
<p>学校文化やルール</p>	<p>通学方法（2人）（自転車通学、バス通学）          学校に行っている時間は学校のルールに従う、先生のいうことを聞くでよいと思う。こども達や保護者に意見を聞いてもすべてを反映できるわけではない。責任は薄まるかもしれないが、家庭では保護者がしっかりこどもと向き合う、学校では先生にお任せするが双方にとってよい。          学校である以上、一定のルールは必要だと思う。ヘアカラーやピアスなどの規定はあってもいいと思う。          「私たち」の学校であるならば、子供同士でルールを決めたり話し合える環境を作る事が大切。          週5行かなくてもいい、1時間目からいかなくてもいい校風に          登校班(通学班)制度。月1ではなく毎日、班で登校！          生徒は教室の温度について意見を述べるができるはずである。</p>
<p>こんな場所があると良い</p>	<p>廃材や、リサイクルできるもので、秘密基地が作れたりする場所          女子更衣室、男子更衣室がほしい。          学校内にフリースクールのような空間（環境・雰囲気）があればいいと思う。          放課後学習教室</p>
<p>学校づくり全体</p>	<p>保護者の学校の活動への参加や協力（4人）（事前に保護者が任意で登録をしておいて、教員の手が足りない時にすぐに協力要請ができるようにする、バザーや清掃など、必要な時に学校から呼び掛ける）          あいさつを返してくれる子供達の多さに驚いている。私たちの学校らしさの一つとして大切にしていきたい。          改善することも大事、声を拾ってくれることは大変ありがたい。だが今まで続いているよいことも守る価値があると思う。学校自身がどうありたいか、周りの声にブレることなく原点を大事にして欲しい。          多様な人との関わりの中でより良く生きていく術を教えてください。声の大きい意見（実は少数意見のことも多い）に振り回されることなく、先生方の信じるものをブレることなく子どもたちに教えて欲しい。          つい数か月前まで毎日走り回っていた子供たちが、入学したとたん毎日7時間座りっぱなしで自由のない生活の中静かに勉強しなければいけないことに大きな戸惑いを感じる。座れない子供に対して先生が強く注意し、登校数日で子供が泣かされたという話も聞いた。友達との関わりも短い休み時間しかなく、この生活の中で学校に通うことの楽しさを子供たちは見つけられるのか。学校は勉強するだけの場なのか、何を学ぶ場なのか考え直す時なのでは。          以前あった公開日を作ったり、いつでも誰でも観に来ていいという形にするなど、学校をより開放的な場所にする。          子ども達のやりたいことを引き出し1年通して取り組み、成果をアピールできる場としての学校。          子ども達自身が、自分の学校生活に責任を持つ事が大事だと思う。保護者や教師が代わりに何かをやってあげるのではなく、子ども自身がチャレンジしたい事に向かっていけるようなサポート&amp;見守りがあるといいと思う。          ひとりあたりのこどもの人数を減らし余裕を与える          あってほしい私たちの学校の姿は、そもそも大学受験のやり方から変わらないと無理なのは…。知識も必要だけど知識以外の非コミュニケーションの力もないと今後やっていけないような気がする。あと、伊那小学校でどのような取り組みされているか聞く見る体験してみるとか…。          実技や体験ができるリソースのある人が集う場として学校の役割は引き続き大きいと思う。行けば誰かに会える、発見がある、自然に足が向く場所として、先生も生徒も学び合って成長していく存在であるとうれしい。          子供たちが元気に、お互いを思いやれる学校。人の痛みが分かったり、自分がされて嫌な事は相手にしない、自分より弱い立場の人を助けられる、困っている人に手を差し伸べる、お友達を気遣える…人として当たり前にできて欲しい、小さいうちから身につけて欲しい社会のルールを学ぶ機会をたくさん与えて欲しい。          人が人として生きるために、人間同士のつながりがとても重要。学習指導要領をおさえた上でコミュニケーションの場づくりをするのは、時間的に難しいのだろうと思う。それでも人の成長のために人となつたことを義務教育の年齢の子には身につけて欲しい。トラブルが起きた時こそそれぞれの成長のチャンスと考えて、子どもたちと関わっていききたい。教職員だけではなくいろいろな大人が関わりながら学びあって乗り越えていけたら。          かわっていくことを諦めない。          みんな違ってみんな良い。          勉強がよくできることよりも、主体性や自分の意見をしっかり持てる子どもが育つと良い。          多くの先生方で子どもを見守ってほしい。人が足りず、先生方の負担が色々多過ぎると思う。給与アップや、先生になりたいと思う学生が増えるようにしてもらいたい。          学校で過ごす為の当たり前と思われることや、常識的な事は、子供も保護者もきちんと守りながら、保護者同士、担任だけでなく、先生達とも柔軟に連絡がとりあえ、地域まるごとみんなで子供達を見守り育てる学校になるといい。          目の前の問題を片付けるという方法ではなく、何が本当に子どもたちの将来に大切か、何代も先の子どもたちのことを考えて、色々決定して欲しい。          他者評価ではなく自己評価の大切さが学校全体に広がると良い。ただ、先生も親も一緒になってその文化を育てなければ意味がないし実現できない。先生と親が学べたり意見交換できたりする場がまず必要なのかなと考えた。          学校は昔から続く何かを無くそうとする前に、保護者も交えて熟考する機会を作って欲しい。          保護者のアンケート結果より子どもたちのアンケート結果を多く取り入れるべき。子どもたちが通う学校なので、子どもたちが望む学校づくりをしてもらいたい。一から作るなら、町内に世界最先端のSchoolができることを期待。</p>
<p>軽井沢オープンスクール（仮称）へのアイデアと思われる意見</p>	<p>地域との密接な連携          「私たちの学校」とかって変なオリジナリティ出そうとしなくても、私たちの学校は昔からある。どなたかのご都合でかなり捻じ曲げられてしまっているが。          先生方がとても頑張ってくださいって感謝している。アメリカには先生の日があり皆でプレゼントをあげる日。          子供達のためにありがとうございます。先生方が元気で笑顔でいて下さる事が子供達にとって大切だと思うので、先生方の負担を保護者や地域の大人で少しでも分け合えたらいいなと思っている。          学校も親も、もっともっと子どもの声をきかないといけないと思う          風越学園やサミットアカデミーなどの特色のある校風の先生といい部分を情報交換して普通の学校生活に生かす。          今、学校へ足が向いていないこどもたちや、公立学校を選ばずに自由教育系の私立学校へ通うこどもたちの意見やアイデアをたくさん聞く。</p>
<p>その他</p>	<p>決して単なる不登校児の受け皿だけにはしないで欲しい。セーフティネットとしてのオープンスクールだけでは全く意味がない。公教育をより豊かにするために、既存校もオープンスクールと同様の学びの空間にすべきである。そうでなければ不登校児は増加の一途をたどると思う。          それぞれの特性に考慮した環境作り（児童・保護者・教職員がともに学び合う体制）。これまでの「公立学校」の常識を排除するところから始める。既存の学校とも行き来できる体制作り（特別な学校にしない）。将来的には「私たちの学校」が既存校にも波及できるような仕組み作りを目指す。          設置場所は、間違っても既存校の併設はやめてもらいたいと思う。学校の門をくぐらない児童生徒が、果たして学校の敷地に併設されるオープンスクールへ行くだろうか。そういう子どもたちの心理的感情も十分に考慮したい。新しい建造物にしないで、既存の公共をリノベして活用すべき。例えば離山図書館は夏期間三か月のみ利用なのだから、候補の一つになるのではないかな。リノベーションをする形で完全なる分校型をお願いしたい。          まず西部小のクラスの松・竹・梅表記をやめてほしい。1組2組がいい！          まず先生方が柔軟な心をもってほしい。          いくら町、県の上層部の方々が我々はやっています！アピールが出来ていてもキレイ事ばかりで現場で子供やその保護者などと向き合ってくれる先生方をまずは大事に大切にしてくれて貰えれば、その先生方も子供達に対しての向き合い方も良くなり、その子供達も安心して先生と一緒に私達の学校を誇らしく作っていく事ができると思う。          現時点で子供達が望む学校になっていないのだろうか？もしそうであれば、どんなところが望ましくないと感じているか、問題に思っているかを質問の前に提示いただけると回答しやすい。          学校がどうにかするというより家で保護者がメインで向き合うのが必要で学校やscは保護者とともにこどもの伴走者になれたらいい          今のままで十分。          今回のように意見を伝える機会をいただけて、とても嬉しい。</p>

問6 もっとあればいいと思うサポートや支援等（空間・時間・場所・ツール）を記入してください。

【回答の傾向】

- ・困ったときに相談や交流できる場所や、学習面でのICTの活用や復習のツールについての意見が多く見られる。

内訳	数	合計
空間（環境・雰囲気）	20	207
時間	10	
場所	53	
ツール（設備・施設）	53	
ひと	27	
その他	44	
なし、特になし		10
無回答		84



内訳	意見
空間（環境・雰囲気）	<p>心配事や不安な事を（先生に）相談しやすい環境（4人）（悩みや凸凹発達の事をオープンに話せる雰囲気）                      わからない事などをいつでも聞ける環境（2人）（目立たないが故に見過される子供達は多いと思う）                      学習のサポート環境（2人）（授業で分からなかったところ、宿題や長期休業中の課題）                      発達凸凹グレーゾーン（診断名付かない）の子たちへの配慮                      タブレット端末などを積極的に使える環境作りおよびサポート体制の充実。                      算数以外も、他のクラスとごちゃ混ぜになって違う先生に教えてもらう教科があっても良い。                      いろんな理由で「学校に行きたくない」子が安心して学べる場。そういう場があるなら周知して、通える場を選べる様にして欲しい。                      学校でスポーツ教室                      地域の方々の協力を得ながら活動できる機会。                      誰にも邪魔されず好きなようにリラックスできる日向や木陰のような環境。                      子供や親の教育に関する客観的な意見を聞ける機会。個別で                      家庭内での虐待や性被害など、形だけではなく子どもがSOSを出しやすい環境、サポート。                      放課後、もっと色々なことにチャレンジ出来る環境                      先生方の負担を減らせるような体制                      佐久等で行われる文化教室を軽井沢でも開催していただけると申し込みや送迎等も含め参加しやすい。実施されているのだったら、tetoru配信で構いませんので周知していただけると助かる。</p>
時間	<p>学習の時間（6人）（授業でわからなかったことや単元・分野を学習できる、それぞれの興味関心を学習できる、高学年が低学年に教える）                      難しいと思いますが、学年や年齢に合わせた学習時間と休み時間。                      海外の授業などにある、自分自身と向き合う時間。                      診断名付かない発達凸凹グレーゾーンの子たちへ、クールダウンできる時間                      たまにはオンラインで先生と気軽に話しできると良い（先生の負担にはならない程度）</p>
場所	<p>困った時に相談や交流できる場所（19人）（児童・保護者・教職員が気軽に相談できる「カフェ」スタイルの相談窓口、るるるの利用条件緩和、卒業後も相談できる、カウンセリングルーム、具体策を出してほしい等）                      学習の場所（5人）（分からない単元や分野をもう一度学習できる、宿題サポートの場、知的障がいがあっても通しやすい塾）                      校内の教室以外の居場所（5人）（静かな環境を好む子向け、グレーゾーンの児童がクールダウンできる、自由に行けて話を聞いてもらったり自分のペースで勉強できたりする、一人になりたいときに一人で静かに過ごせる）                      校内の施設の充実（4人）（図書館や理科室の充実、図書館の開館機会を増やす）                      学校に行きたくない時の居場所（4人）（親子で行ける、一覧があると慌てなくて良い）                      支援の窓口について（3人）（窓口を知りたい、中間教室の使い方を教職員が理解してすぐ利用できるように）                      児童館での過ごし方関係（3人）（長時間テレビをつけるのをやめる、昼食持参の許可、補習）                      保護者対応窓口（2人）（弁護士などのトラブル担当）                      その他校内の場所（5人）（教室内の場所、校庭にプレーパーク、学用品のお下がり提供の場、子供同士がじっくり話し合える場所、特性ある子への対応方法等の参考図書や参考事例が豊富にある学校内保護者向け図書室&amp;相談室）                      その他校外の場所（3人）（給食と同じメニューが食べられるカフェ、駐車場付きや日除けがある公園・広場、芸術に触れやすい機会、支援が必要な児童が気軽に利用できる施設）</p>
ツール（設備・施設）	<p>分からない単元や分野をもう一度学習できる（欠席時のフォロー含む）（10人）                      ICTの活用（9人）（授業での活用、あたまプラスの導入、オンラインご意見箱、連絡帳をコドモンやテトルで、プリントではなく写真の配信、アプリ等で宿題や持ち物の提出状況・フィードバックを見る、eスポーツのクラブで、熊や不審者が出たときの事前の情報配信、保護者の意見をまとめて学校に要望できるウェブシステム）                      個人のペース（習熟度）で学習を進められる（5人）（プリントをどんどん進める、泳げる子はコースを変える）                      フィードバックの充実（4人）（子供の学習能力がどれくらいなのか常に知ることができる、保護者懇談会が年に1回なのは少ない、分からない単元や分野が学期ごとに分かるように、単元終わりなどでテストを持ち帰る）                      備品関係（4人）（iPadなどの軽いタブレット、図書館の本を増やす、パーテーションの購入、夏の帽子着用での登下校の検討）                      学習についての選択（3人）（勉強補助教材を選ぶ、低学年も苦手な科目の選択授業、進路の選択肢や将来の職業に繋がるような興味のある事に自由に参加できる単元）                      リモート授業の充実（3人）（感染症予防、学校とのつながりを切らさない、登校と欠席の中間）</p>

ツール（設備・施設）	補習関係（3人）（塾には行けないが必要な子のための放課後学習支援、長期休業中、疑問点のネット配信等）
	宿題や課題の充実（2人）（宿題が少ない、以前より学習の時間が減っていると感じるので本人主体なのはわかるが、ある程度宿題や課題で学力が向上する機会を作してほしい）
	勉強の復習ができるツールや進めている単元の確認ができるツール（2人）
	施設関係（2人）（中部小の女子トイレを新しく、通学路の街灯や防犯灯を増やす）
	子どもが興味を持てる授業の進め方（学ぶ意欲を育てる工夫）
ひと	勉強で分からない所を聞ける（今は聞いても授業が進まなくなってしまうから喋らないでほしいと言われてしまう）
	子どもの声が、先生を通してではなく直接、教育委員会に届く仕組みを作してほしい。
	その他の支援（3人）（送迎のバス、学習支援とコミュニケーション支援、先生の負担が減る支援）
	教職員の増員（8人）（町派遣の教師、サポートの先生や支援員、学習指導員を増やす）
	カウンセラーの来校日を増やし、いつでも相談できる環境にする（5人）（常時を希望、現在は来校日が少なすぎ）
	学習のサポートをしてくれる人（3人）
	専門家についての要望（2人）（LDに関する専門家配置、より詳しく相談できる専門家の紹介）
	子育ての心配や不安なこと、困ったことをいつでも相談できる人（2人）（低学年のうちから児童にも周知する）
	お友達とのトラブルなどで十分な体制が整っておらず、先生の忙しさによりあいまいなままにされた。そのようなフォロー体制が欲しい（学校カウンセラーや県から派遣されるカウンセラーに話したが、悩みを聞くだけで終始し、実践的なアドバイスなどは皆無で徒労に終わった）。
	子供たちでの掃除だと限度があるようでトイレが汚い、臭うなどの理由でギリギリまで我慢している。難しいとは思いますが長く使用できるように外部の人を週に一度でも入れてもらうことはできないのかなあと思う。また雑巾でトイレの床を掃除していると聞いて...（違ったらすみません）それは辛いかなあと個人的に思っている。
その他	地域のひととの交流
	いじめが発覚後の加害者側のカウンセラー。必ず被害者が悪くなる。
	診断名付かない発達凸凹グレーゾーンの子たちの理解者（親も学校も）
	小中高の連携コーディネーターを配置して欲しい。幼保小中高の連携を推進している軽井沢町だからこそ、学校間の連携や、学校の枠を超えて一体となった取り組みを教員が担うのではなく、教育事業に従事したことのある人材を活用して欲しい。そして校長職を退任したシニア層ではなく、若手、中堅人材の活用が肝要であるように思う。行政職員だけで成り立たせるのは、過重負担になるだけでなく、連携が上手く取れないように思う。
	指導主事を配置していないのはなぜか。このあたりも課題のように感じている。
	PTA廃止や負担軽減（4人）（共働きで行うのはきつい、ボランティア制や外注にしてほしい。働き方も多様化しているのでは昔のやり方で通用しないと思う。6年生までには必ず役員をやらなければいけないなど、時代錯誤かと、、、PTAが外注になれば会いた時間でも子供と触れ合うことができる）
	オープンダアスクールではなく、今の学校をもっと過ごしやすくする支援をして欲しい（3人）（小学校は比較的のびのび成長する支援があると感じられるが、中学に進んだ途端、制服をはじめ窮屈な生活になりそうで非常に心配）
	教員研修（3人）（いじめに関して、よりよい人間になるための持続的な研修、知識や体験の共有）
	行事について（2人）（運動会で教職員参加の競技、八風山強歩大会の内容変更について児童の思いを聞いたか）
	休日関係（2人）（ラーケーションの導入、夏休みの代わりに平日に欠席にならない休みが5〜10日くらい欲しい）
	学習への要望（2人）（英語以外の多言語でも遊ぶ、基礎学力の定着に向け他県の取り組みの導入）
	保護者が学校の様子を見る機会（2人）（参観日を増やす、普段の様子を見る機会）
	お願いする所違うかもだが、通学路の改善をお願いしたい。歩道がボロボロになっていたり、下草や植木などが歩道にはみ出しているせいでちゃんと歩けなかったりしている。
	帰りのスクールバスを出してほしい。バス停が遠くて一般の人と一緒に心配。
	給食が足りないといっているの、質と量の向上を希望する。食材費が高騰しているの、予算も増やしてほしい。あと、食材の納入業者も現在がひどい状態なので、群馬や佐久などからも仕入れていただきたい。
	おいしくて安全な給食を提供してほしい。しなびた野菜が納品されると聞く。業者の選定から見直してほしい。また軽井沢町内で収穫された野菜やお米をもっと使った給食を提供してほしい。シェフ給食よりも子供達のためになる食育活動に力を入れてほしい（シェフ給食はエキシブやレストランの宣伝としか思えない）
	発達グレーの子がクラスにいる場合、その子が過ごしやす環境づくりや配慮は当然されると思うが、真面目に授業を受けたい子、嫌だと思っても言えない子等立場が弱いような子が、我慢ばかりすることなく安心して過ごせる環境にも配慮してあげられる支援やフォローが充実すると理想的。
	問題行動を起こす子供の別室登校など、専門的な対処。担任の負担軽減にもつながるし、他の子供たちへのメリットが大きい。中学でも是非ほしい制度。
	特性のある子どもたちについて全ての保護者が知る機会がほしい
	少数派への配慮は申し分ないほどに感じているが、多数派が我慢する場面が多いように思う。また学習面でも、定着が難しい児童へのアシストは多く、逆に勉強が得意な子の自己肯定感が育まれる場面も多々ある中、中間層へスポットライトが当たる取り組みが少ないように感じる。
	情報の出し方にも少し気を使っていたらありがたい。個人面談の場所が教室であることは他のママから聞いた。運動会は保護者席がどこなのかわからず、上級生のママに聞いた。小学校にとっですでに当たり前のことが、初めて子供を小学校に預ける父母には当たり前でないことがたくさんある。
	コロナ禍以降いろいろな変化がありもう一度立ち止まって学校が子ども達にとってどうあるべきか皆で知恵をしゃぼって良い方向に向かうことを願っている。
	定期的ないじめの実態調査や、先生の職場環境のチェック（ハラスメント）
	人数が少ない学校のメリットを最大限に活かした学習内容でいてほしい。また、少人数だからこそできる学習方法や体験もたくさんあると思う。子供達がお友達を尊重し、仲良く、楽しく学校生活を送ってくれることを望む。
	生徒の人数が少ない事などによって、同じ町内なのに学校によって出来ることと出来ないことがないようにすべき。
公立の小学校の魅力を伝えられるようなサポートや行事。	
先生に余裕ができる様な学校作りがむしろ大事なのかな？と思う。	
担任の先生が元気に働いてくださることを一番に望んでいる	
学校ではありませんが、児童館の休み期間のお弁当注文（働く母親にとって、あるのとないのでは、預けるか預けないかの大きな違い。我慢して何とかやりくりしている方は多いと思う。特に軽井沢は夏場忙しい方が多いので、早急にご検討いただきたい）	
問題を抱えているご家庭は助けを求めるのが苦手。結局支援する側も「お願いされなきゃ」支援は出来ないようなので、見て見ぬふりがこれからも続いていくのだろうか…。今でも出来ていないのに、これ以上望む意味が無い。	
まずは満足していない子がどれだけのいるかの、何に対して満足していないかの現状把握のアンケートが必要かと思う。既に実施され把握されているなら、今回のアンケートの最初に、現状はこうなっています→それに対してどう改善予定、または課題に思っています→それについてどう思いますか？アイデアありますか？という流れだと回答しやすい。最後になってしまったが、子供達のためにこのような回答の機会作っていただきありがたい。	
教育長は様々な取り組みに着手されているので、本当に素晴らしいと思っている。どういう考えをもって学校改革に着手されているのか、また学校の在り方について等、顔が見える形でメッセージがもっと欲しいなと感じる。定期的な発信をぜひ検討していただきたい。	
例の通り。	
こういったアンケートがあるのはすごく嬉しい。	
以前の制服のアンケートもそうだったが、このようなアンケートが実際どう活かされるのか教えて欲しい。	
今のままで良い（3人）	